



働きざかり
47才

日野市議会議員

西野まさひと

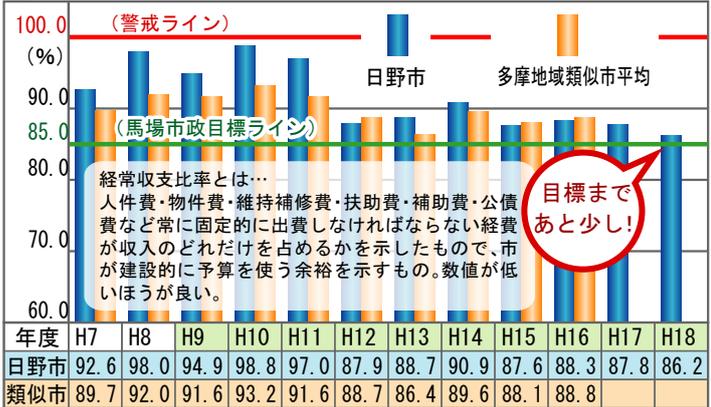
活動報告 NO.11

ハッキリ言います！市政にひとこと！

【ホームページ】<http://www.nishino1.com/> 【FAX】042-582-2866



日野市と多摩地域類似都市平均との経常収支比率の対比



※類似市平均値は立川市・武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小平市・東村山市・多摩市・西東京市の平均

馬場市政となつてから、日野市政の財政は健全化され、同規模の近隣市と比較してもかなり優秀と言えるでしょう。左図は、財政の健全性を見る指標の一つである経常収支比率を近隣市の平均値と対

財政は堅調に健全に！

平成19年9月議会では、18年度予算の決算を行いました。私も自らの視点から市政運営のポイントを市民の皆様にご報告したいと思います。

馬場市政 平成18年度事業総括！



比したものです。平成9年に馬場市政が誕生し、以来堅調に健全化しており、平成15年度から近隣市対比でも優位になっています。平成17・18年度と経済が上向き、市税収入が好転したこともプラス要因として働いていますが、18年度好結果の最も重要な要因は馬場市長就任時から取り組んできた人件費の削減であると思います。

人件費削減の努力

日野市は前政権時に職員給与水準とも大増したため、負の遺産を背負いました。しかし、「第二次日野市行財政改革大綱」(平成11・16年度)で行われた退職者不補充による職員定数の削減、昇級・昇進など給与水準の適正化、民間委託の推進等の効果が徐々にあらわれています。

ただ、下表の通りいぜん職員数は近隣市に比べ群を抜いて多く、特に特別会計枠の職員(市立病院職員を含む)が他市平均の約2.8倍に及んでいます。また、若手職員の不足や、専門知識の欠如など「職員の空洞化」も見られ、今後警戒が必要です。

多摩地域類似都市別職員一人当たりの市民数

	立川市	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小平市	日野市	東村山市	多摩市	西東京市	平均
職員数	1322	1113	1102	1357	1333	969	1498	945	910	1225	1177
職員1人当たりの市民数	127.5	119.1	154.9	172.5	156.2	181.2	112.5	153	155.5	151.1	148.4

第三次日野市行財政改革大綱を作成！

馬場市政は平成18年10月に「第三次日野市行財政改革大綱」を作成しました。これは、全国的に比較をしてもこれからの地方分権時代にむけ重要な成果です。なかでも地方自治法の改正により、これまで公社などの公共的団体のみしか委託出来なかった業務を民間に委託することが出来る、いわゆる「指定管理者制度」を早くも16施設に導入していることは高く評価すべきです。

魅力ある日野のまちづくりへ

そして、これからの日野市の活性化と発展のため、日野市の持つ個性と文化を尊重し、「日野宿通り再生事業」を手がけています。私は、これからの日本は産業の成熟期を迎え、自治体も個々の獨創性が求められる個性的な街に国内外から人が集まる時代となると思います。私も日野で生まれ育った一人として、先人の残してくれた宝を大切に守り育て、この事業成功のため全力で取り組んでまいります。



日野宿交流館開所式



日野宿通り再生事業説明会

「日野いいプラン2010」



平成18年度の主な事業 まちづくりの10の柱

施策の成果 ダイジェスト!

馬場市政平成18年度の主要な成果を要約してご報告します。10項目からなるまちづくりの施策から私がそれぞれピックアップしてご説明します。細かな内容についてはホームページをご参照下さい。



馬場市政

I 参画と協働のまちづくり

●高幡駅ビル内に新七生支所を開設

主要ターミナル駅である高幡不動駅内に支所を移すことにより、より便利に！公共駐車場の整備と併せ市民サービスが向上しました。



新七生支所開設

●国民健康保険税及び介護保険料のコンビニ収納の開始

国民健康保険税・介護保険料をコンビニで収納が出来るようになりました。夜間・休日の利用を主としてより便利になりました。



馬場市政

II 日野人・日野文化を育てるまちづくり

●小中学校 ICT 教育環境の整備

全小中学校に校内LANを整備し、コンピュータ、書画カメラ、電子黒板、コンテンツ等最新の機器類を整備！教職員一人1台のパソコンを導入、ICT教育の出来ない教員をゼロに！



●平山小学校、日野第一中学校の建替

平山小学校は、平成18・19年度で改築工事を実施！日野第一中学校は平成19・20年度で改築工事予定！



日野第一中学校完成予想図

馬場市政

III ふれあいのあるまちづくり

●地区センターの整備

第二武蔵野台地区センター・豊田地区センターの2館の建替！（バリアフリー化）滝合・多摩平東・大坂西・大和田地区センターなど8館のバリアフリー化！



第二武蔵野台地区センター

馬場市政

IV 対等の立場で心のかようまちづくり

●駅前ミニ子育て応援施設「モグモグ」開設

百草園駅近くの閉店したコンビニを改修し、午前10時～午後4時の間は、自治体運営としては全国初となる子育てカフェをオープン！午後5時～9時は学童クラブ終了後の児童の育成を行う施設となります。



「モグモグ」

●待機児解消に向けた取り組み

児童手当の対象年齢が小学3年生から小学6年生に引き上げられました！また、待機時減少のため、市民要望に応え駅近くの民間施設に家賃補助の形をとり保育園を確保しました！（3園で定員89名）



至誠あずま保育園

馬場市政

V だれでもが健やかでいられるまちづくり

● 自立支援パワーリハビリテーション事業

健康運動指導士の指導のもとマシンを使用して39名がトレーニングに参加！

● 楽・楽トレーニング体操

筋トレと操体法を取り入れたトレーニング体操を、南平体育館・新町交流センターで実施！



● いきいきウォーキング事業

60歳以上の高齢者が介護予防や生活習慣病予防のため楽しく歩きながら取り組む事業！

● 女性なんでも健康相談事業

女性特有の疾患や症状に対処するため専門医による健康相談を月2回実施！



馬場市政

VI 住みやすいまちづくり

● 土地区画整理事業の推進

現在、土地区画整理事業を推進中です。日野バイパス延伸部の道路用地確保に伴い国から公管金を確保！

● 交通バリアフリー特定経路整備

日野駅周辺では電線を地中化し、歩道と車道の段差を解消するなどバリアフリー化を行いました。

豊田南で
約46億円！
平成18年度末時点

● 国道20号バイパス事業

国道20号日野バイパスが平成19年3月24日ついに開通！

● 多摩川遊歩道整備

市民の憩いの場、多摩川の遊歩道を舗装しました！



国道20号日野バイパス開通式



多摩川ニューロシティ北側

馬場市政

VII 気軽に出かけられるまちづくり

● 特徴ある公園づくり

浅川スポーツ公園を人工芝のサッカー場及び広場に！また、駒形公園をドックラン及び広場に改修しました。



浅川スポーツ公園

● 放置自転車特別対策

モノレール沿線駅にも市民要望に応え駐輪場を確保！また、駅前に誘導員を置き、自転車を放置しようとする人に指導と誘導を行いました。



甲州街道駅臨時駐輪場

18年度で
自転車撤去台数
3,345台！

馬場市政

VIII 自然と人が共生するまちづくり

● ごみゼロ運動事業

市民の協力で2年間レジ袋削減のためマイバッグ運動に取り組んできました。この成果を基に、市内スーパー及び商店連合会に対しレジ袋の有料化を要請しています！



馬場市政

IX 安全で安心なまちづくり

● 安心安全ポケットパーク事業

市内の小・中学校4校に、子供たちの安全安心のため見通しの悪い交差点に隅切りをし、公園を設置しました。交通事故や不審者の危険性を取り除きます！



一小前ポケットパーク

馬場市政

X 個性と魅力と活気あるまちづくり

● 京王線高幡不動駅舎建替及び自由通路等の設置

京王線高幡不動駅を安全で快適な交通拠点とするため、駅の橋上化にあわせ東西・南北をバリアフリーの自由通路で結びました。また、駅舎屋上に既存駐車場と一体利用できる公共駐車場70台分を設置しました。



高幡不動駅北口



高幡不動駅



日野市と国をつなぐ

国政探訪

馬場市政における成果の一つとして「第三次日野市行財政改革大綱」の作成を挙げました。自治体の改革の重要性と国との関係、そして今後の課題について、地元選出の小川友一衆議院議員が今春、国会で質問をいたしました。馬場市政の努力の背景を知る貴重な内容ですので、以下、小川代議士にコメントを寄せて頂きました。



これまで地方自治体は国からの地方交付税に依存した街づくりの事業を行って参りましたが、**小泉改革以後は漸次地方交付税が減少するとともに税源と権限が移譲され、自治体の裁量が大きくなります。**つまりこれからは効率の良い行政運営が求められ、行政を預かる首長はもとより、行政に指摘・提案をする議員の手腕が問われます。

自治体の努力に評価制度を！

これまで国は地方に向けて5年ごとの行政改革大綱を策定するよう求めてきました、しかしながらこれは何のチエックも、成果に対する評価も無い一方的なもので、自治体によっては「どうせ国が地方交付税で担保するのだから積極的に取り組まなくても良いのでは？」と改革を怠ってきたところもあるかと思えます。私も地方議会での経験から、国の地方自治体に対する取り組みのありように多くの疑問を持つてきました。国政の場へ押し上げて頂きました今、「国としても5年ごとに改善を求めるだけではなく、策定された改革大綱に年次計画や数字目標も明記し、自治体の努力を正しく評価する制度を早期に策定すべきである」と質問をし、国の姿勢をただしました。地方自治体の多くが課題とし取り組んでいる財政の健全化に対しても、職員定数の削減や行政の効率化を図るなど多くの困難を乗り越えて成果を上げた自治体と、何ら改善策を講ずることの無かった自治体と、国として何の優遇措置もない現在の制度では、地方自治の現場で改革は促進してゆきません。

これからの各自治体の行財政改革は市民生活と直結した大切な問題となります。このまま財政が悪化すれば市民サービスが極度に低下する自治体も起こりうることとなります。

衆議院議員 小川友一

小川友一活動写真



第23回日野天友会ゴルフコンペを開催！



平成19年10月22日
オリズムピック・カントリークラブにおいて23回目となる「小川友一日野天友会ゴルフコンペ」が行われました。

二百七十四名の参加者のもと盛況に開催され、参加者は日頃から研鑽の技を競い合いました。

また、競技後のパーティーでは小川代議士から直近の政局、国会の模様を報告していただきました。



お知らせ

国会見学！

西野まさひと友の会では常時国会見学を受け付けています！
3~5人から団体でのご参加まで
お気軽にお問い合わせ下さい！